

■ e SKY

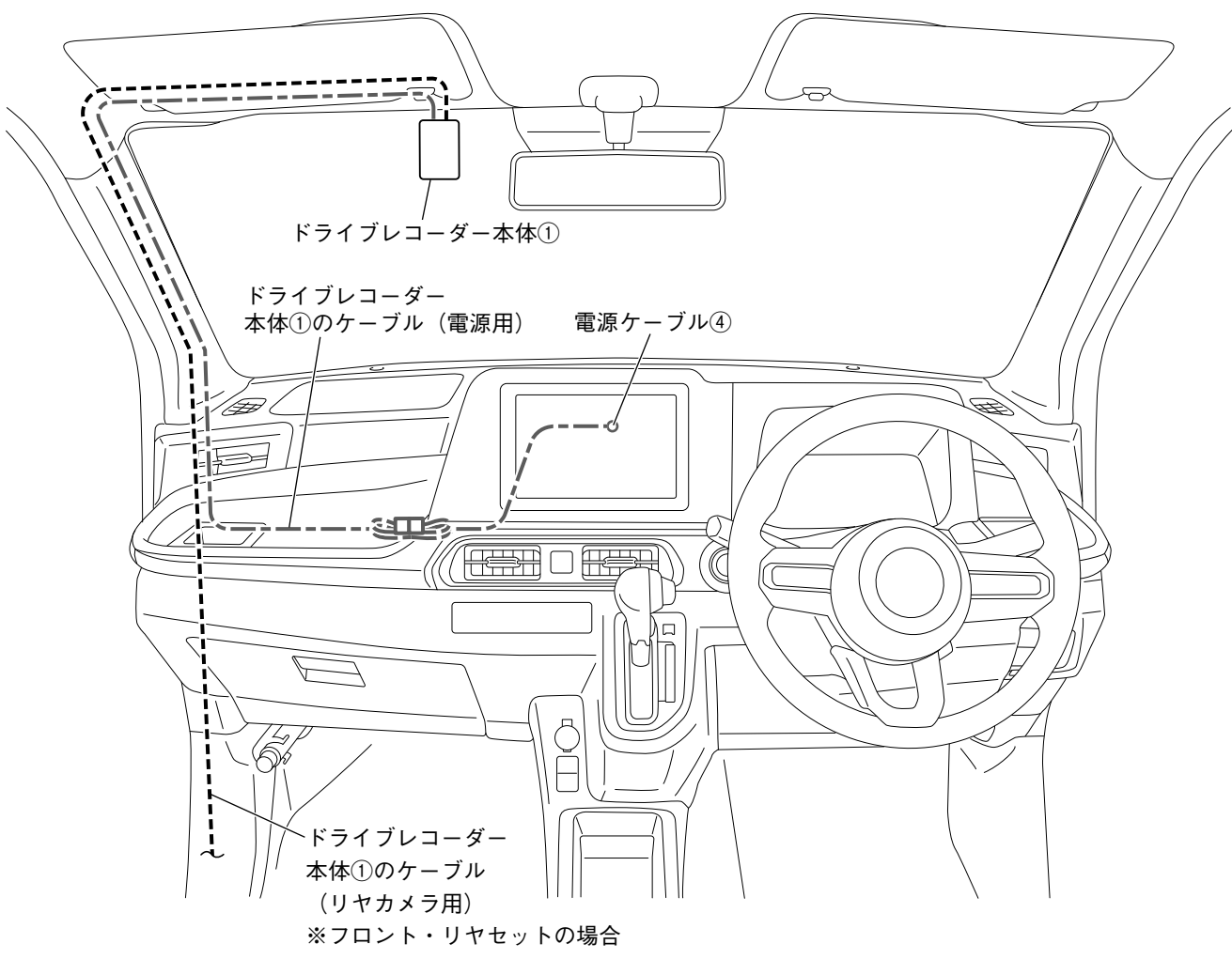
👉 アドバイス

本説明書は「フロント・リヤセット」、「フロントのみ」の2つの製品の取付方法について記載しています。タイトルや本文に記載しているコメントを参考にして、それぞれの製品の取り付けを行ってください。

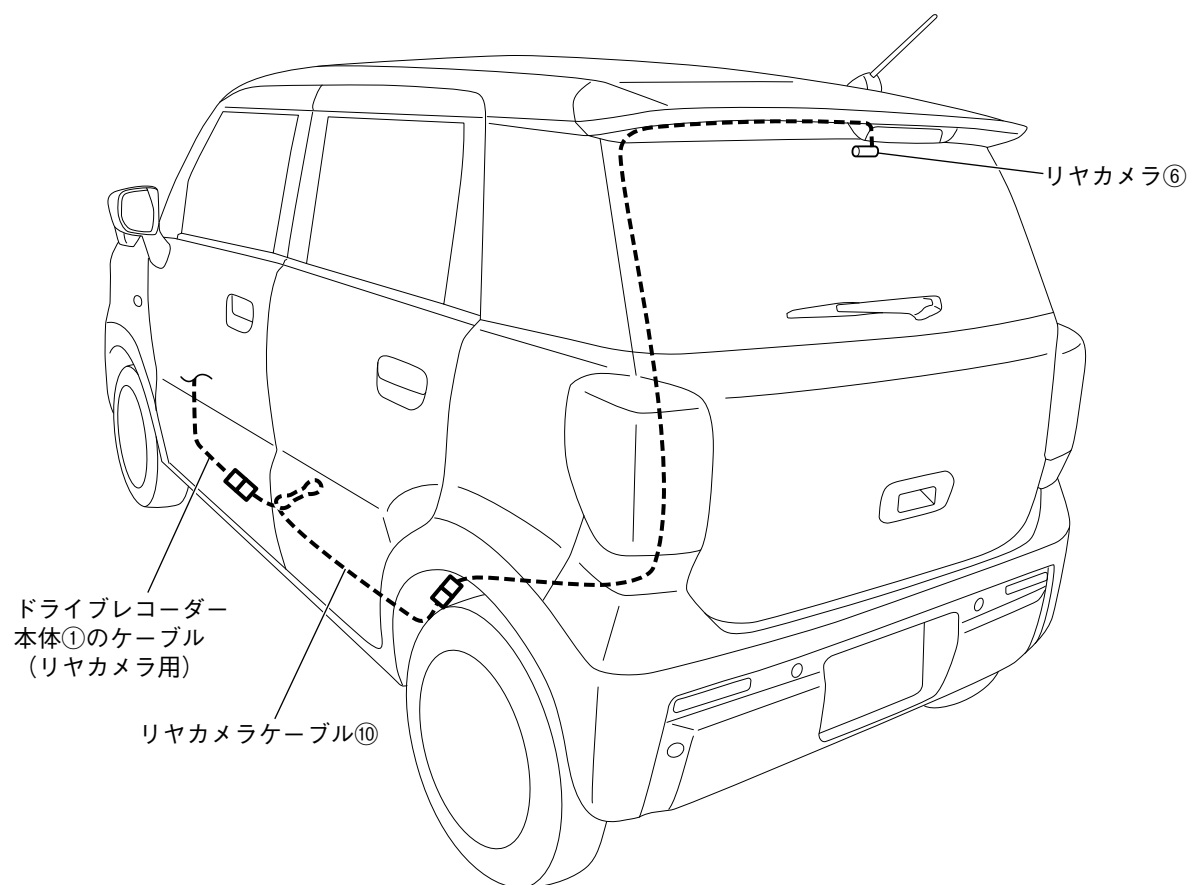
1. 取付概要図

フロント・リヤセット

フロントのみ



フロント・リヤセット



2. 車両部品の取り外し

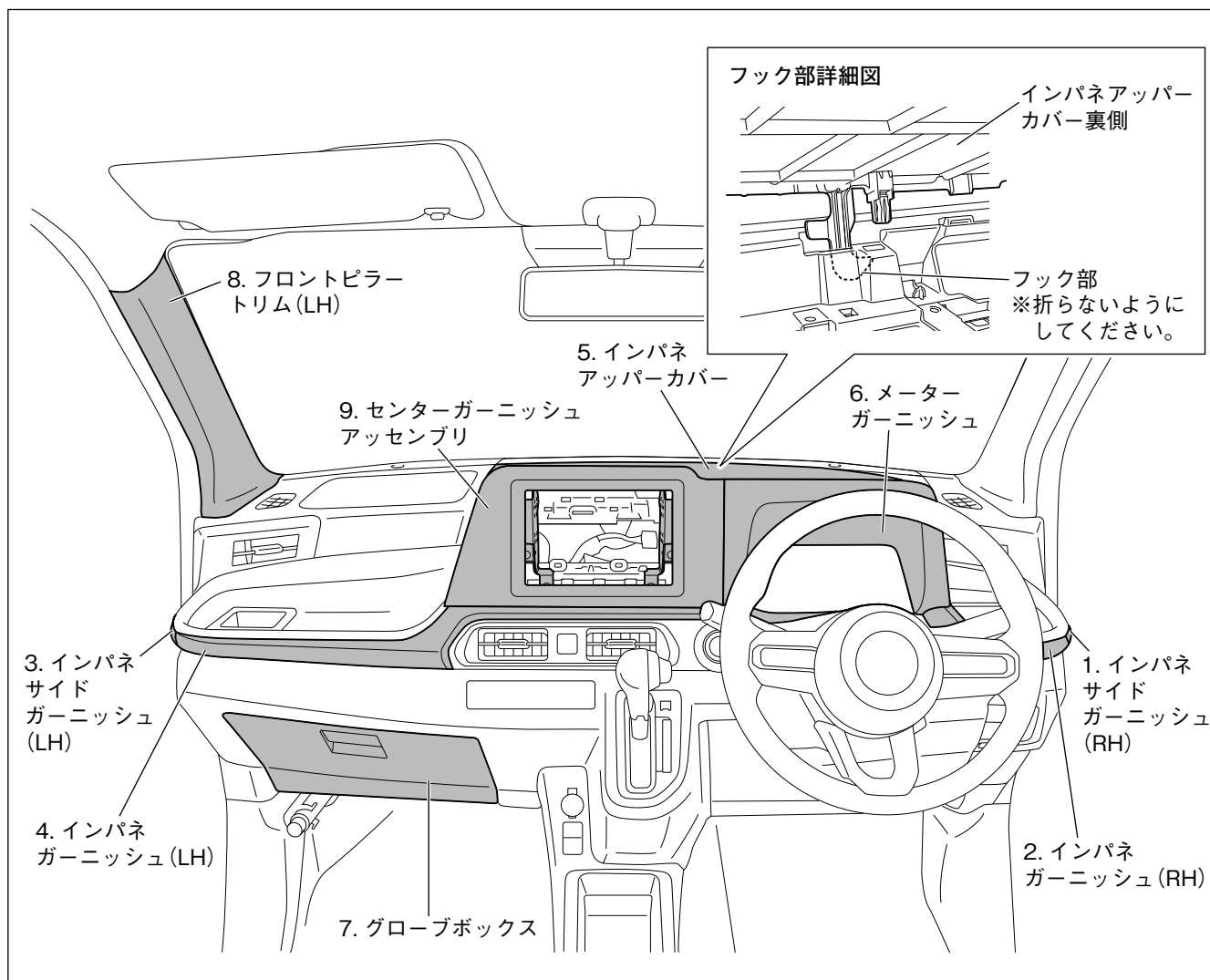
⚠ 警告

「高電圧ケーブル（橙色のハーネス）」には、みだりに触らないでください。感電や漏電の原因となります。

図中の番号順に車両部品を取り外します。

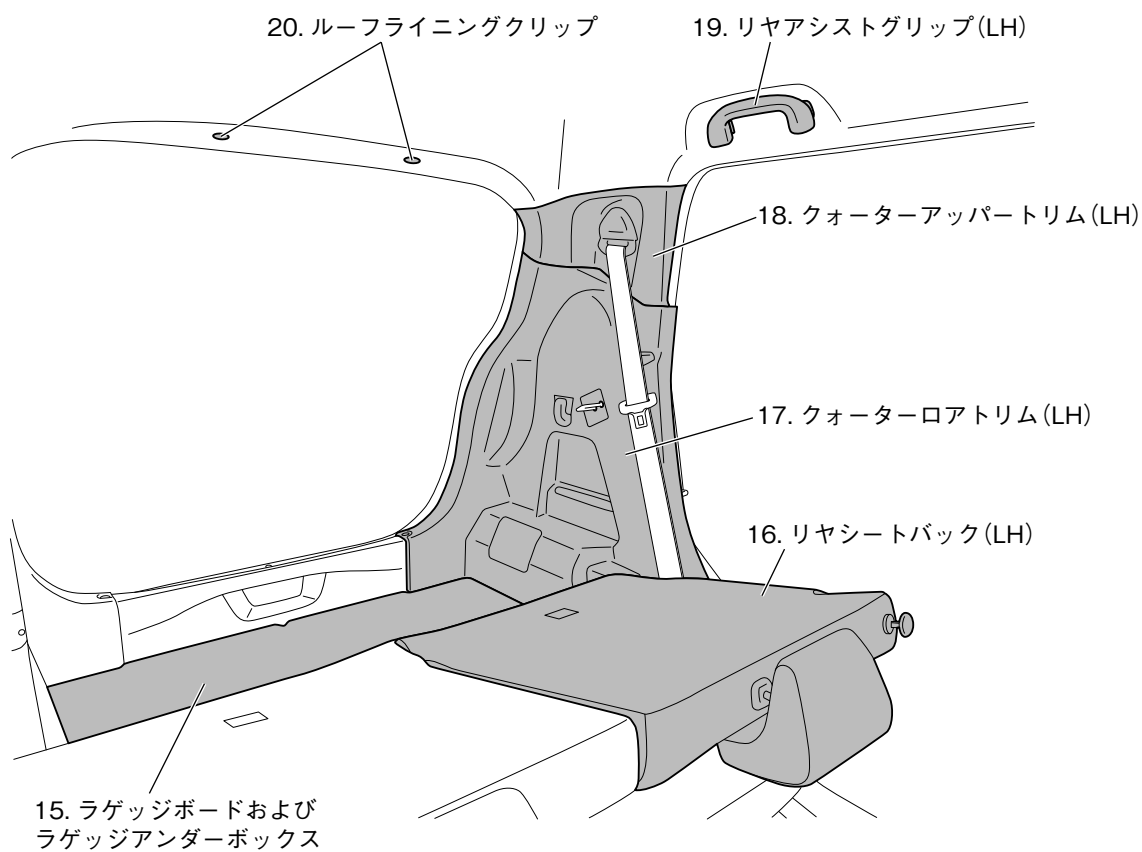
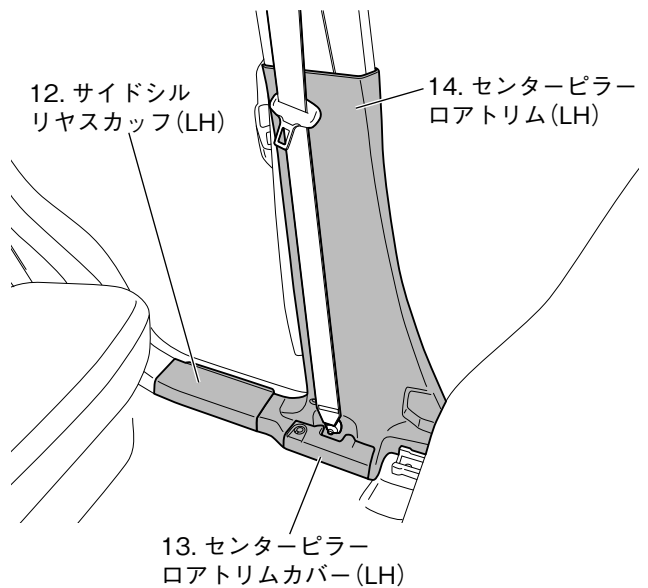
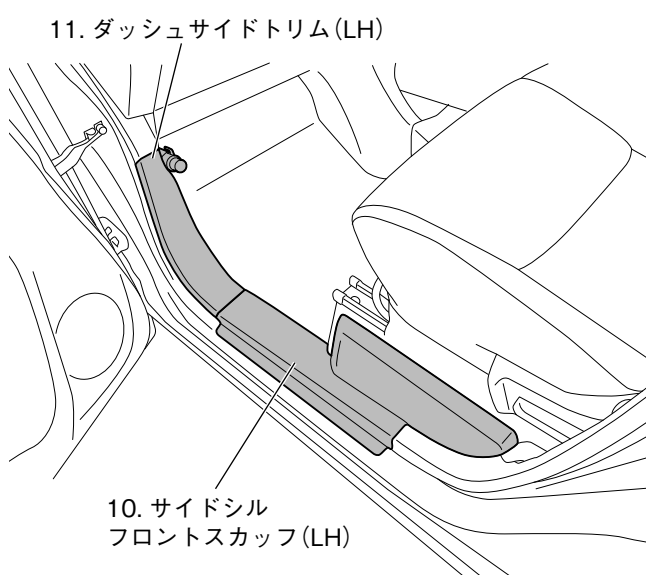
注記

内装部品を傷付けないよう、養生テープなどで保護をしてから部品を取り外してください。

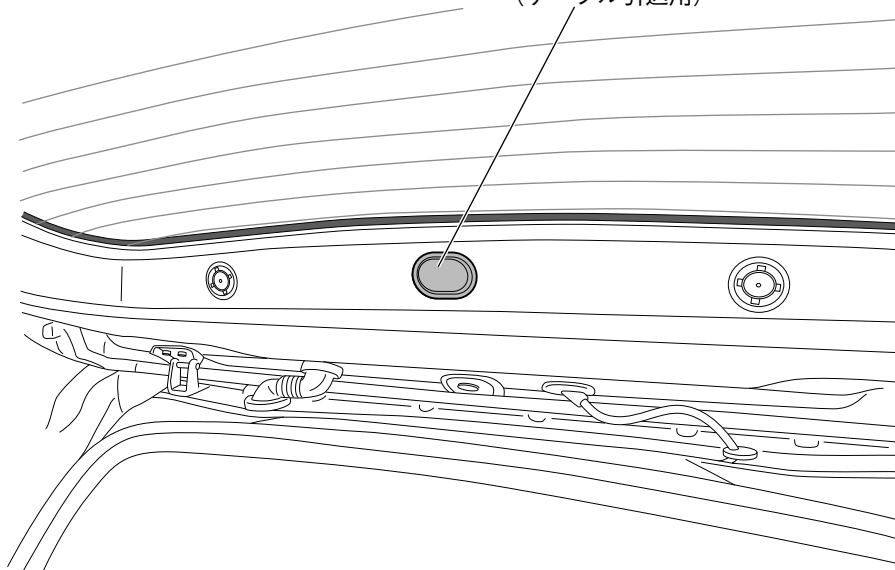


 アドバイス

「フロント・リヤセット」装着時は、以下の車両部品も取り外してください。



21. サービスホールキャップ
(ケーブル引込用)

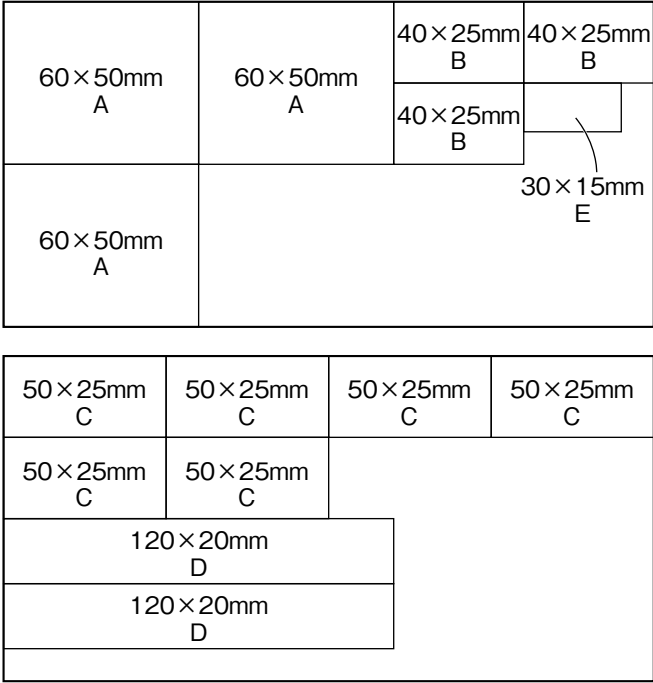


3. 取付前の準備

a. クッションテープの準備 フロント・リヤセット フロントのみ

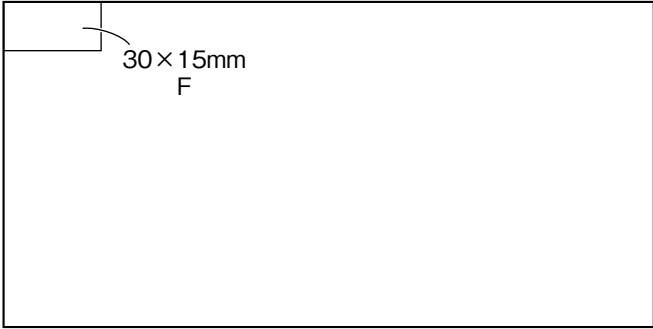
●フロント・リヤセットの場合

クッションテープ (200×100mm) ⑫



1. クッションテープ⑫を左図のようにカットします。
- A：コネクター接続部巻き付け用
 - B：ドライブレコーダー本体①のケーブル巻き付け用
 - C：ケーブル固定用
 - D：余長束ね用
 - E：アースコード固定用

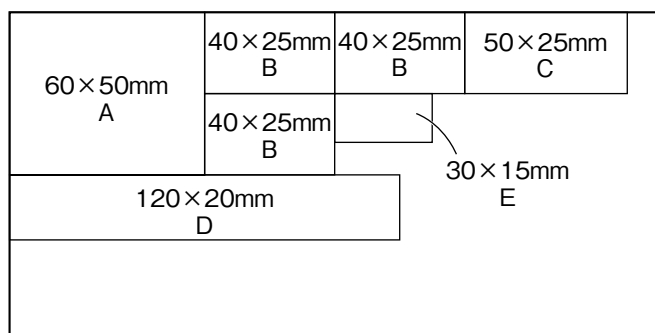
保護シート (200×100mm) ⑬



2. 保護シート⑬を左図のようにカットします。
- F：エッジ保護用

●フロントのみの場合

クッションテープ(200×100mm)⑫



1. クッションテープ⑫を左図のようにカットします。

A：コネクター接続部巻き付け用

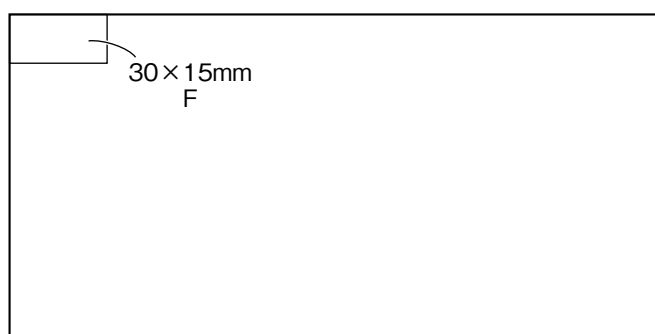
B：ドライブレコーダー本体①のケーブル巻き付け用

C：ケーブル固定用

D：余長束ね用

E：アースコード固定用

保護シート(200×100mm)⑬

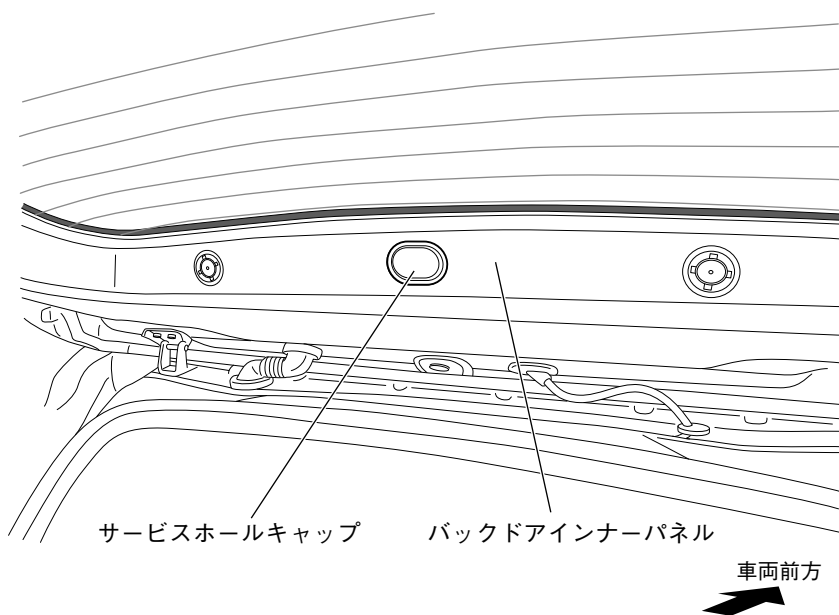


2. 保護シート⑬を左図のようにカットします。

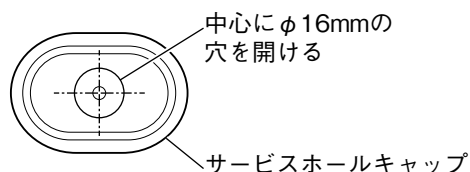
F：エッジ保護用

b. サービスホールキャップの加工 フロント・リヤセット

<バックドア上部>



<サービスホールキャップ穴開け>



1. バックドアから取り外した車両サービスホールキャップの中央に穴（φ16mm）を開けます。

⚠ 警告

穴開けの際は切削粉が飛散するため、必ず保護メガネを着用してください。

⚠ 注意

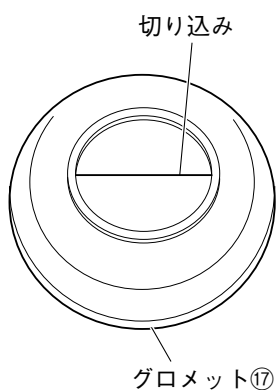
電動ドリル使用時は、巻き込み防止のため手袋を着用しないでください。

注 記

- ・ ホールソーの刃先端部から 10mm 以内の位置にストッパー（布テープ等）を巻いてください。
- ・ ホールソーは穴開け面に対して垂直に当ててください。

2. 穴開け加工部をヤスリでバリ取り処理します。

c. グロメットの加工 フロント・リヤセット

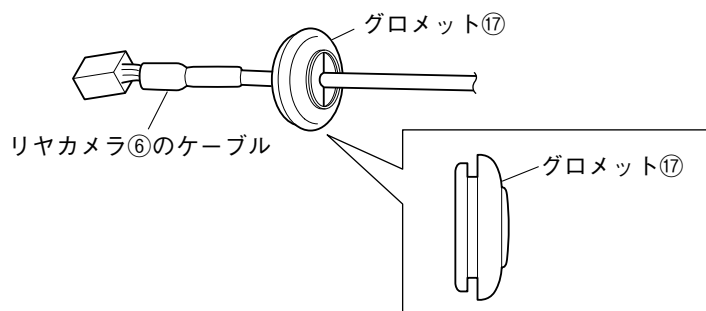


1. グロメット⑰に切り込み加工します。

⚠ 注意

切り込み加工時は、ケブラー手袋を着用してください。

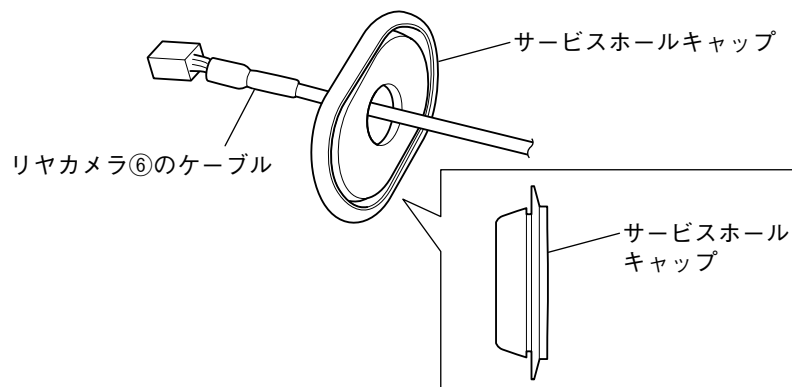
d. リヤカメラのケーブルの準備 フロント・リヤセット



1. グロメット⑰にリヤカメラ⑥のケーブルを通します。

注記

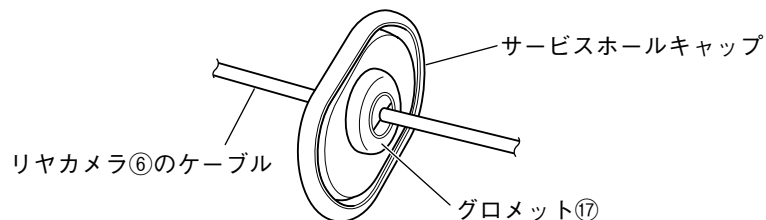
- ・グロメット⑰は、図の向きで取り付けてください。
- ・リヤカメラ⑥のケーブルをグロメット⑰内に通す際は、破損防止のため無理に引っ張ったりしないでください。



2. リヤカメラ⑥のケーブルをサービスホールキャップの加工穴に通します。

注記

サービスホールキャップは図の向きで取り付けてください。

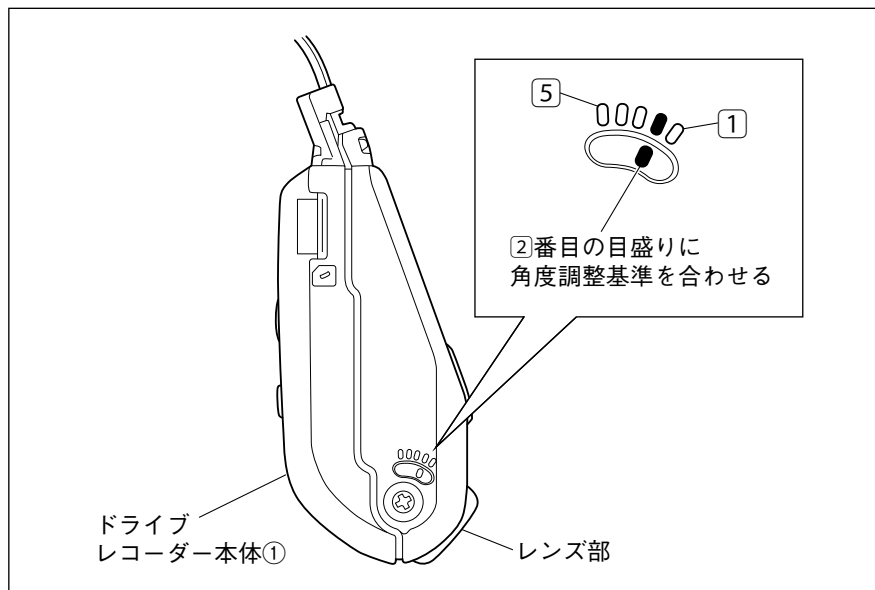


3. グロメット⑰をサービスホールキャップの加工穴に取り付けます。

4. 取付要領

a. カメラ角度調整 フロント・リヤセット フロントのみ

●ドライブレコーダー本体



1. ドライブレコーダー本体①のレンズ部の角度を左図位置に固定します。

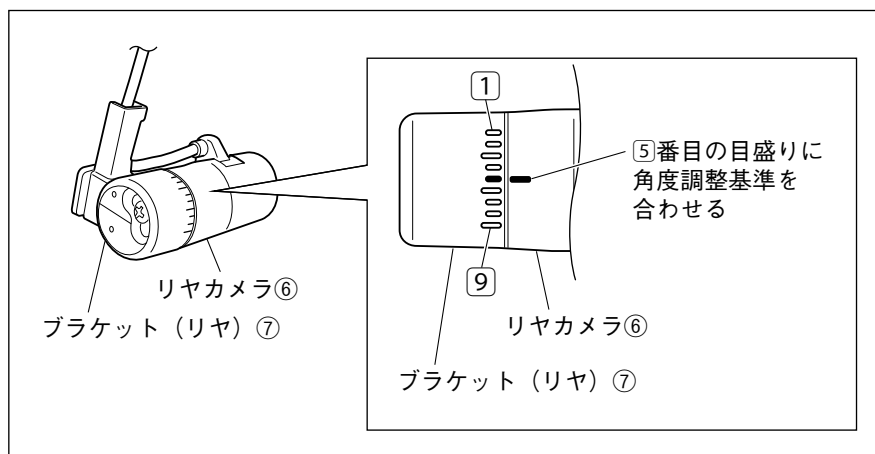
注 記

- ・カメラレンズ部の汚れや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- ・しっかりと固定され、がたつき等が無いことを確認してください。

👉 アドバイス

ドライブレコーダー本体①レンズ部の角度調整方法の詳細は、共通編の「<ドライブレコーダー本体の取り付け>」を参照してください。

●リヤカメラ



注 記

以下の作業は「フロント・リヤセット」装着時のみ行ってください。

1. ブラケット (リヤ) ⑦をリヤカメラ⑥に組み付け、左図位置に固定します。

注 記

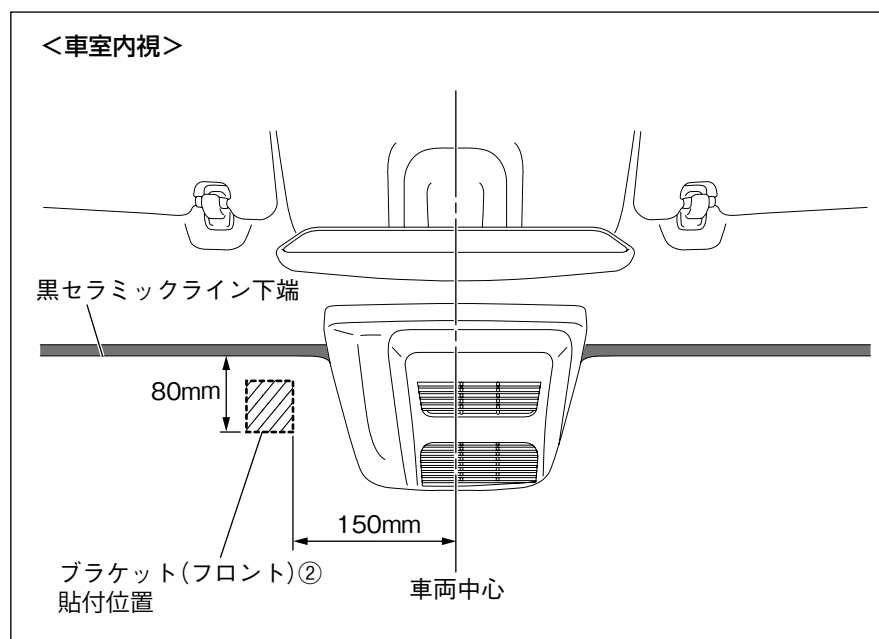
- ・カメラレンズ部の汚れや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- ・しっかりと固定され、がたつき等が無いことを確認してください。
- ・取り付け後にリヤカメラ全体の位置がずれたり、傾いたりするおそれがあります。配線作業をする前には必ず共通編 21 ページに記載されているケーブル引き回しの作業内容を参照してください。

👉 アドバイス

ブラケット (リヤ) ⑦の組み付けの詳細は、共通編の「<リヤカメラの組み立て>」を参照してください。

b. カメラ取付位置 フロント・リヤセット フロントのみ

●ドライブレコーダー本体



1. ブラケット（フロント）②をフロントガラス内側の左図位置に取り付けます。

注 記

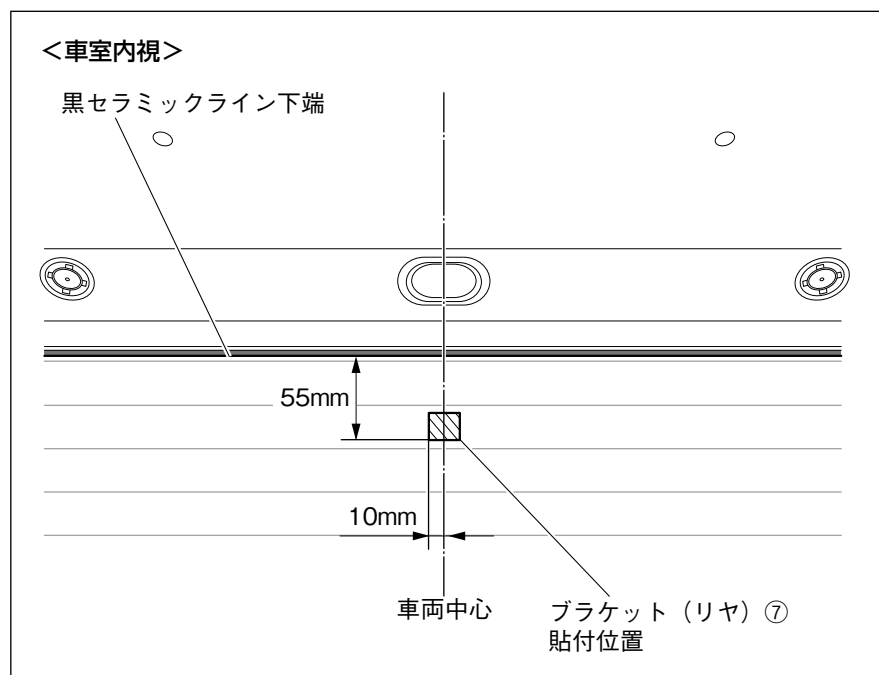
- ・取付面の汚れ等をクリーナー⑭できれいに拭き取ってください。汚れていると接着力が低下します。
- ・接着面に触れたり、ブラケットを取り付け直したりしないでください。
- ・気温が低い時（15℃以下）は、取付面をドライヤーなどで温めてから取付作業を行ってください。

👉 アドバイス

ドライブレコーダー本体①、ブラケット（フロント）②の取り付けの詳細は、共通編の「＜ドライブレコーダー本体の取り付け＞」を参照してください。

2. ドライブレコーダー本体①をブラケット（フロント）②に取り付け、ネジ（M3 × 5.5mm）③で固定します。

●リヤカメラ



注 記

以下の作業は「フロント・リヤセット」装着時のみ行ってください。

1. ブラケット（リヤ）⑦をバックドアガラス内側の左図位置に取り付けます。

注 記

- ・取付面の汚れ等をクリーナー⑭できれいに拭き取ってください。汚れていると接着力が低下します。
- ・接着面に触れたり、ブラケットを取り付け直したりしないでください。
- ・気温が低い時（15℃以下）は、取付面をドライヤーなどで温めてから取付作業を行ってください。

👉 アドバイス

リヤカメラ⑥、ブラケット（リヤ）⑦の取り付けの詳細は、共通編の「＜リヤカメラの取り付け＞」を参照してください。

c. ドライブレコーダー本体のケーブル（電源用、リヤカメラ用）配線

フロント・リヤセット

フロントのみ

<ルーフライニング部の配線>

※フロント・リヤセットの場合

クッションテープ⑫



ドライブレコーダー
本体①のケーブル

※フロントのみの場合

クッションテープ⑫



ドライブレコーダー
本体①のケーブル

クッションテープ⑫



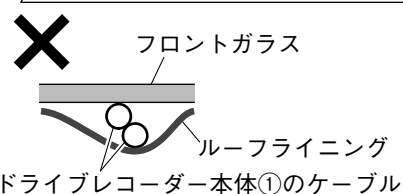
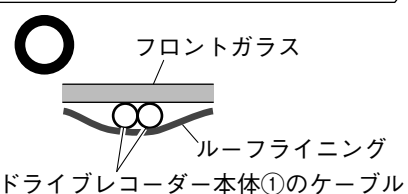
ドライブレコーダー
本体①のケーブル

クッションテープ⑫
(40×25mm)

ドライブレコーダー
本体①のケーブル
(電源用、リヤカメラ用)

ドライブ
レコーダー本体①

車両前方



注 記

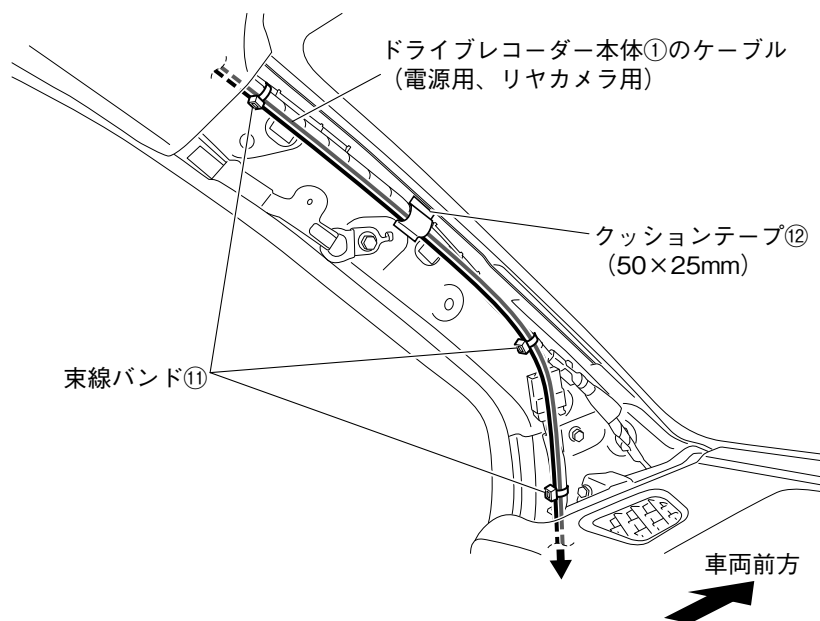
「フロントのみ」の場合は、ドライブレコーダー本体①のケーブル（リヤカメラ用）の配線作業はありません。

1. ドライブレコーダー本体①のケーブル（電源用、リヤカメラ用）にクッションテープ⑫を巻き付けます。
2. ドライブレコーダー本体①のケーブル（電源用、リヤカメラ用）をルーフライニング内に入れ込みながら、フロントピラー部へ配線します。

注 記

ルーフライニング引込部のドライブレコーダー本体①のケーブル（電源用、リヤカメラ用）は、フロントガラスと並行になるようにしてください。

<左側フロントピラー部の配線>



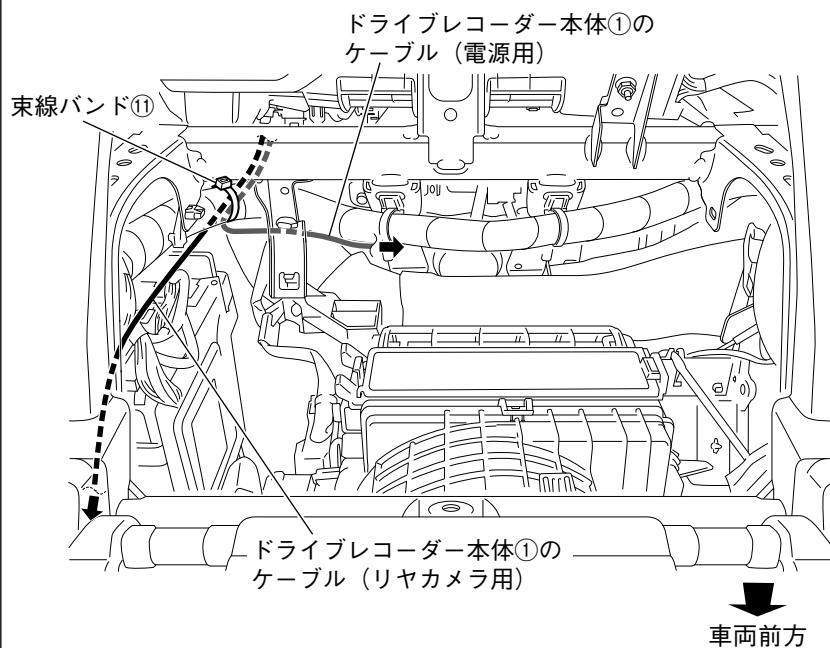
3. ドライブレコーダー本体①のケーブル（電源用、リヤカメラ用）をフロントピラーに束線バンド⑪とクッションテープ⑫で固定しながら配線します。

注 記

- ・ドライブレコーダー本体①のケーブル（電源用、リヤカメラ用）およびクッションテープ⑫は、カーテンエアバッグの部品と接触しないように配線・固定してください。
- ・クッションテープ⑫でフロントピラートリムの固定クリップ穴をふさがらないでください。また、フロントピラートリムの当てリブ部と干渉しないようにしてください。

4. ドライブレコーダー本体①のケーブル（電源用、リヤカメラ用）をフロントピラーとダッシュボードのすき間からグローブボックス取付部に配線します。

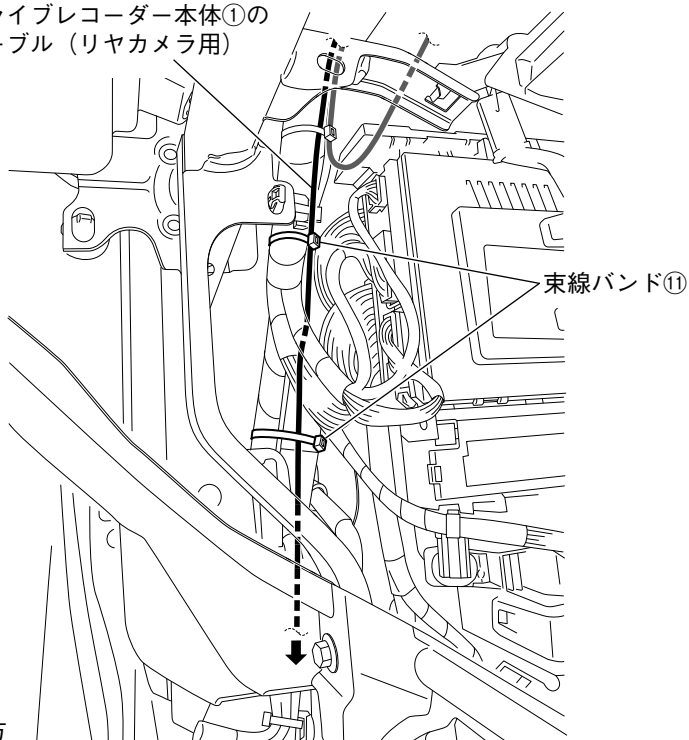
<グローブボックス取付部>



5. ドライブレコーダー本体①のケーブル（電源用、リヤカメラ用）を束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。

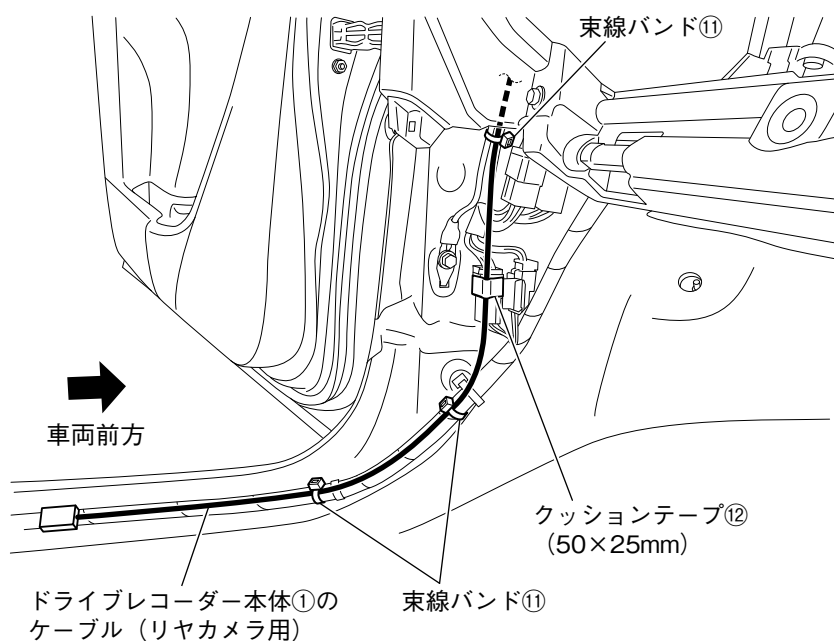
<グローブボックス取付部左側>

ドライブレコーダー本体①の
ケーブル（リヤカメラ用）



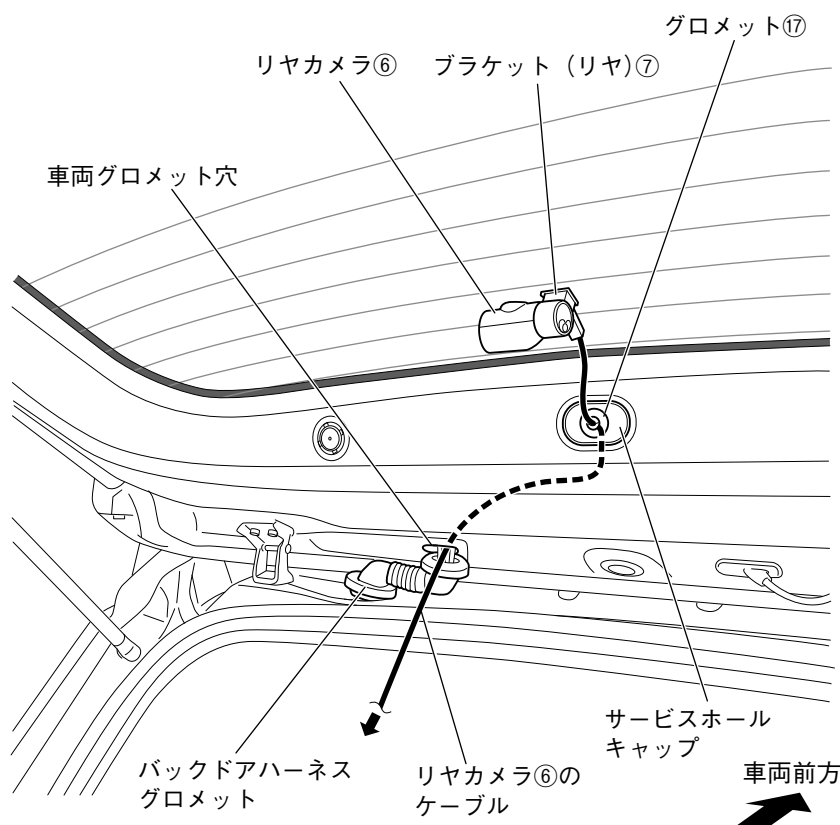
6. ドライブレコーダー本体①のケーブル（リヤカメラ用）を助手席足元左側まで配線し、束線バンド⑪とクッションテープ⑫で車両ハーネスに固定します。

<助手席足元左側>



d. リヤカメラのケーブル配線 フロント・リヤセット

<バックドア上部>



1. バックドアハーネスグロメットのかん合部をバックドア側および室内側から外します。

注記

バックドアハーネスグロメットの室内側にはグロメットインナーがあります。グロメットインナーを車体から一旦外し、バックドアハーネスグロメットにはめてから復元してください。

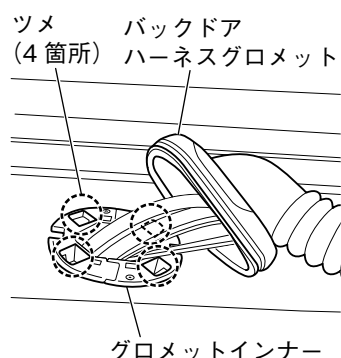
2. リヤカメラ⑥のケーブルをサービスホールからバックドア側の車両グロメット穴まで通します。

注記

- ・リヤカメラ⑥のケーブルがブラケット (リヤ) ⑦の奥まで確実に押し込まれていることを確認してください。(共通編 21 ページ参照)
- ・リヤカメラ⑥のケーブルは、配線作業中に引っ張ったりして、ブラケット (リヤ) ⑦の奥から外れないようにしてください。

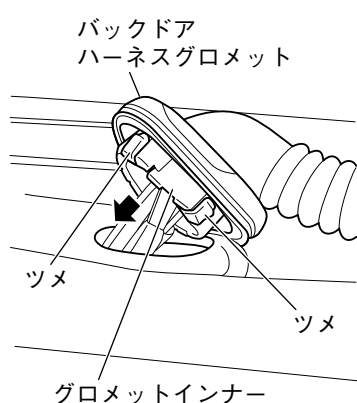
3. サービスホールキャップをサービスホールに取り付けます。

<バックドアハーネスグロメット室内側の取り外し>



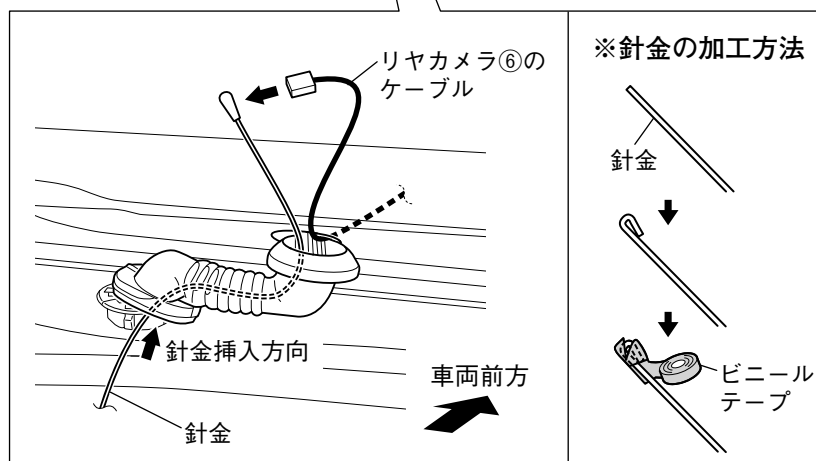
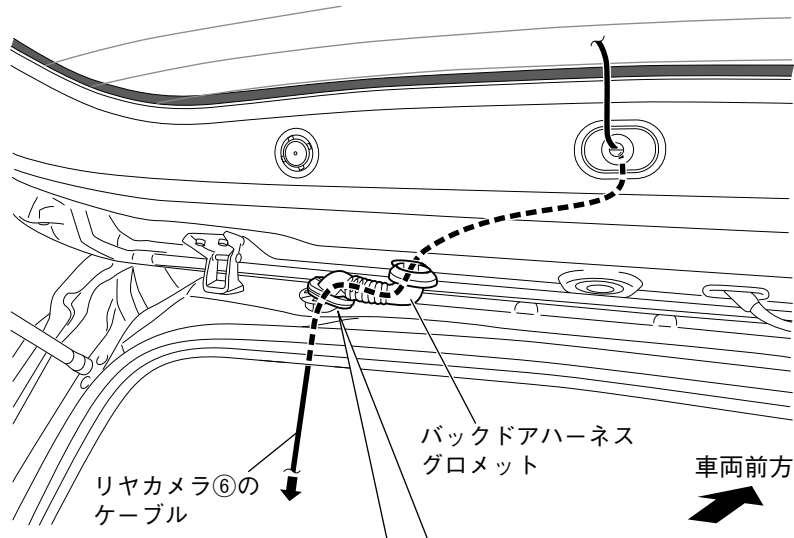
- ① グロメットインナーからバックドアハーネスグロメットを外してください。
- ② ツメ (4箇所) のかん合を外し、グロメットインナーを車体から外してください。

<バックドアハーネスグロメット室内側の復元>



- ① グロメットインナーをバックドアハーネスグロメットにはめてください。
- ② バックドアハーネスグロメットを車体にはめ込んでください。
※ツメ (4箇所) を確実にかん合させてください。

<バックドアハーネスグロメット部>



4. 針金を使用してバックドアハーネスグロメット内にリヤカメラ⑥のケーブルを通し、室内側まで配線します。

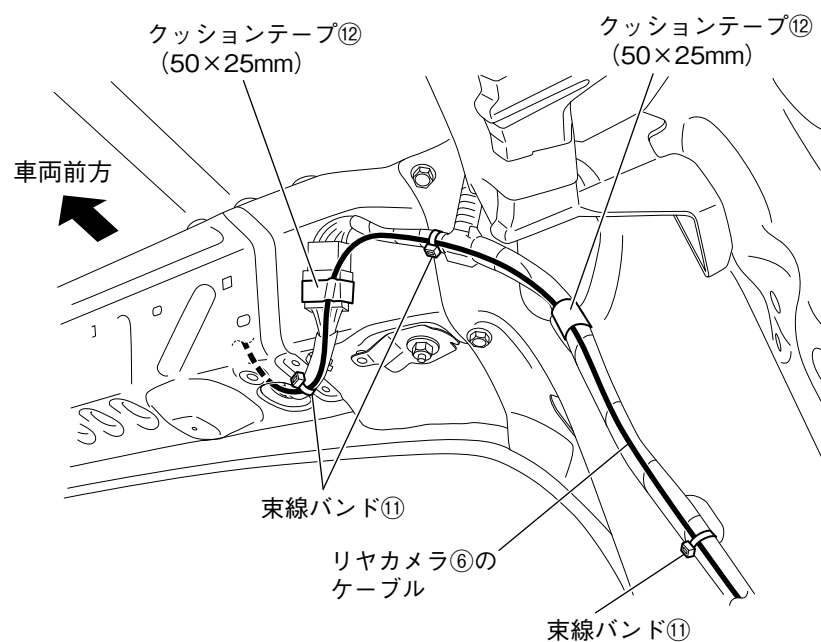
注記

- ・バックドアハーネスおよびリヤカメラ⑥のケーブル破損防止のため、無理に引っ張ったりしないでください。
- ・リヤカメラ⑥のケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、中性洗剤等を塗布してコネクタ部がバックドアハーネスグロメット内で引っかからないようにしてください。その際、コネクタや端子に中性洗剤等がかからないようにしっかりテーピングしてください。

アドバイス

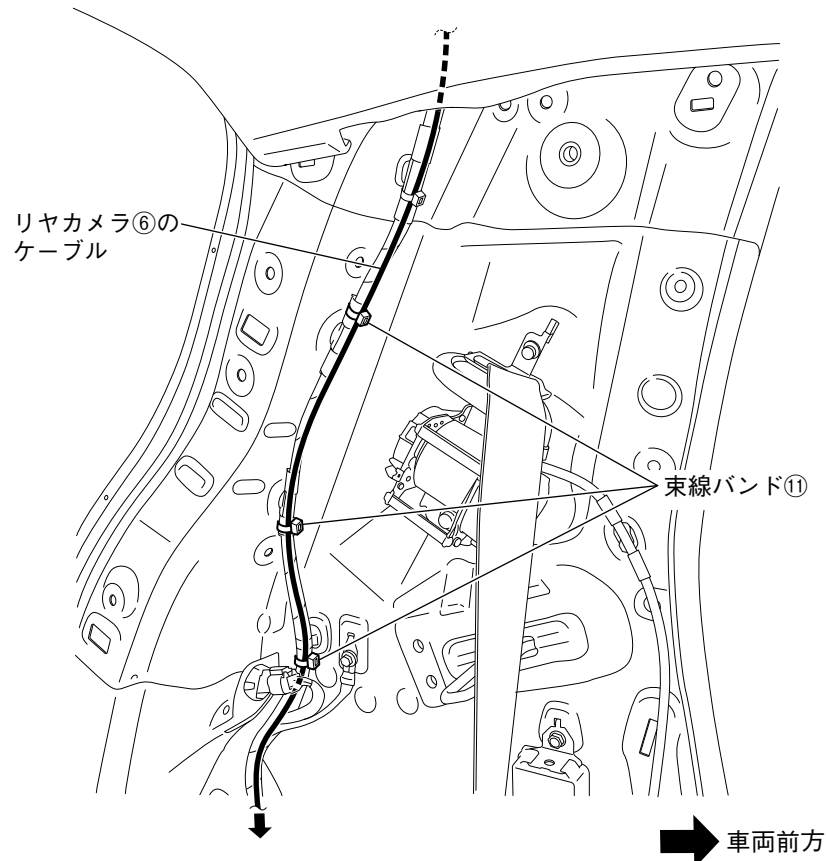
- ・針金の先端を折り曲げ、ビニールテープでテーピングをしてください。
- ・折り曲げた側の針金をバックドアハーネスグロメットの室内側からバックドア側に通してください。
- ・リヤカメラ⑥のケーブルのコネクタを針金にしっかりテーピングしてください。

<ルーフ左後部ルーフライニング裏>



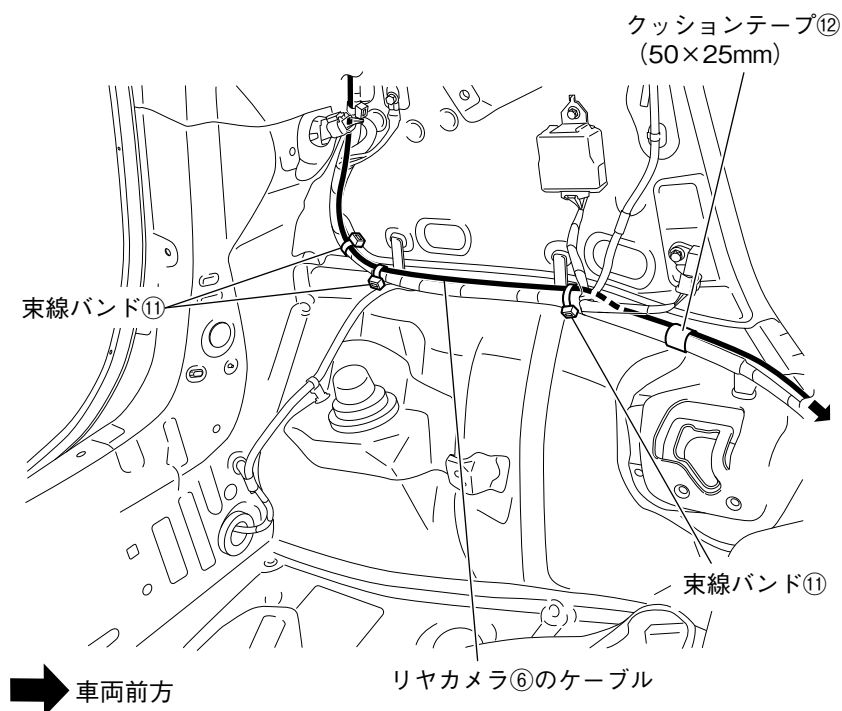
5. ルーフ左後部ルーフライニング裏のリヤカメラ⑥のケーブルを束線バンド⑪とクッションテープ⑫で車両ハーネスに固定します。

<左クォーターピラー>

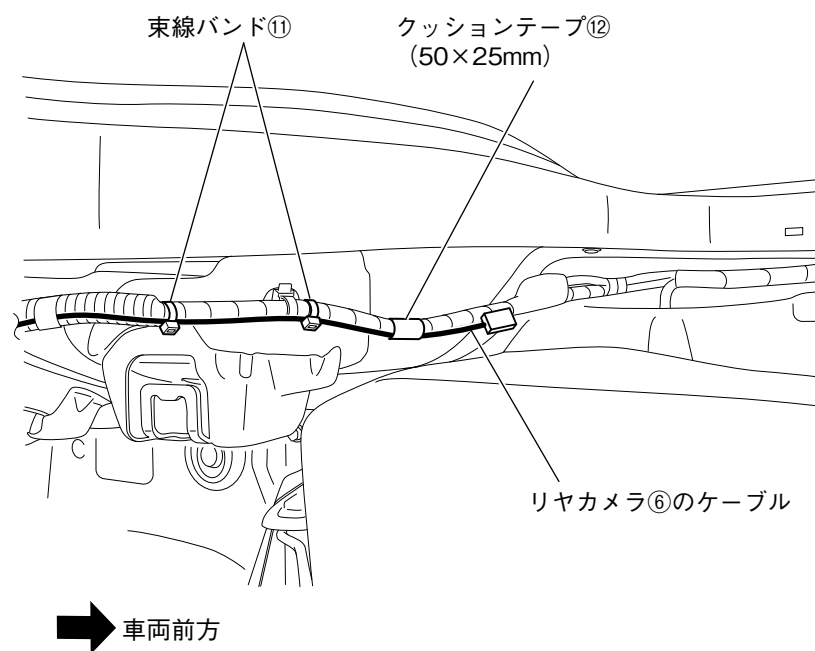


6. 左クォーターピラーのリヤカメラ⑥のケーブルを束線バンド⑪で固定します。

<左クォーターピラーパネル下部>



7. 左クォーターピラーパネル下部のリヤカメラ⑥のケーブルを束線バンド⑪とクッションテープ⑫で固定します。



e. リヤカメラケーブルと電源ケーブルの配線

フロント・リヤセット

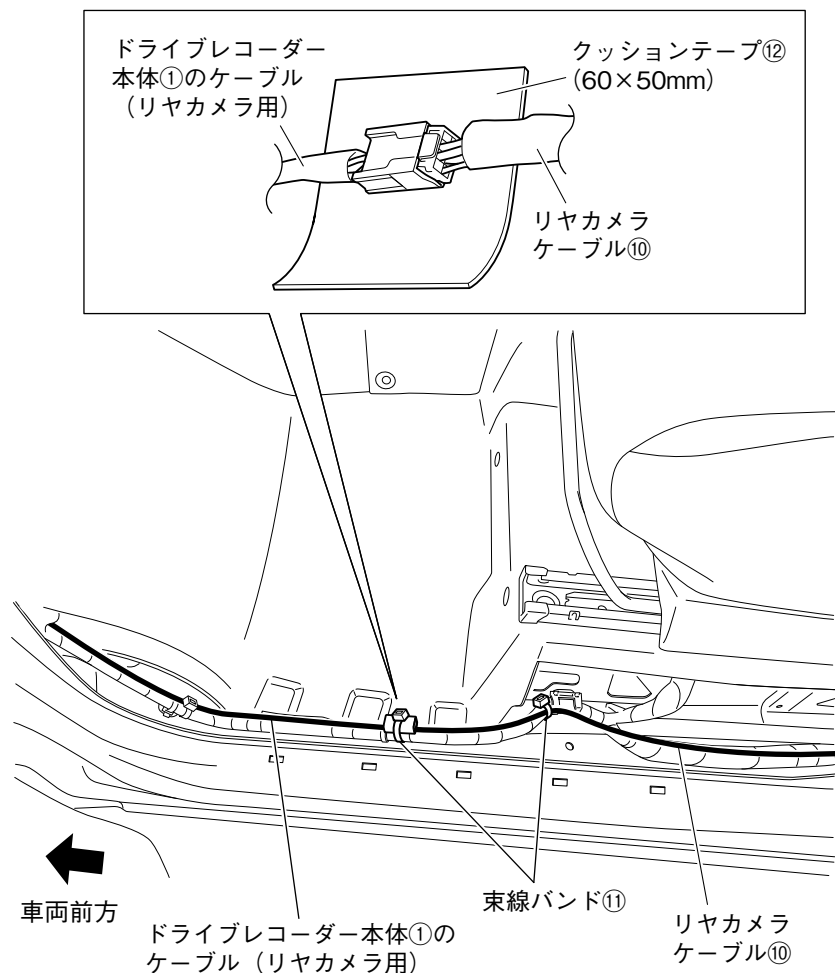
フロントのみ

注記

「フロントのみ」の場合は、ドライブレコーダー本体①のケーブル（リヤカメラ用）とリヤカメラケーブル⑩の配線作業はありません。

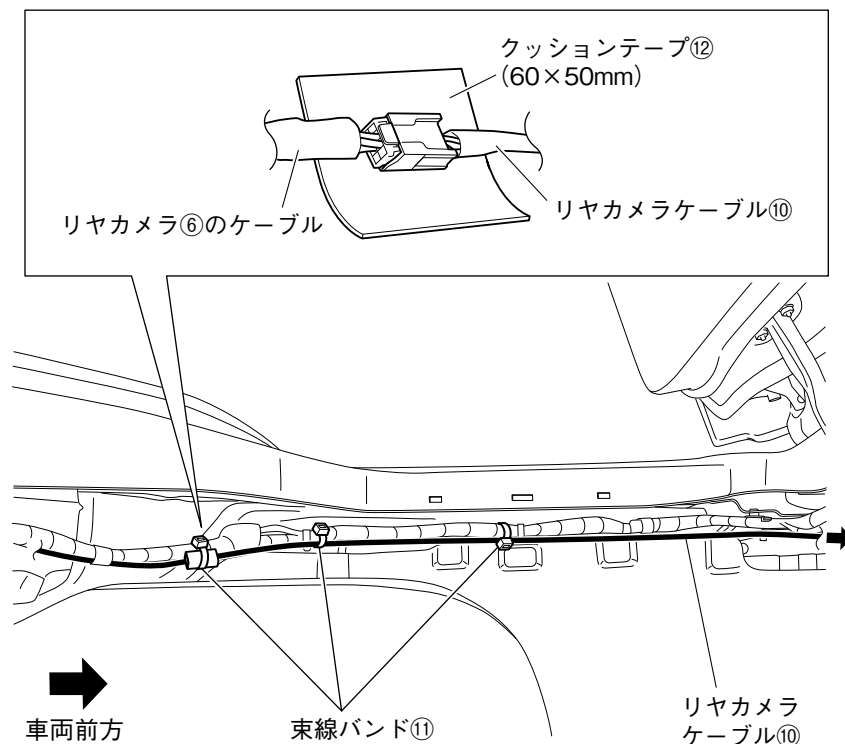
1. リヤカメラケーブル⑩をドライブレコーダー本体①のケーブル（リヤカメラ用）に接続します。
2. 接続したコネクター部にクッションテープ⑫を巻き付けます。

<左フロントドア開口部>

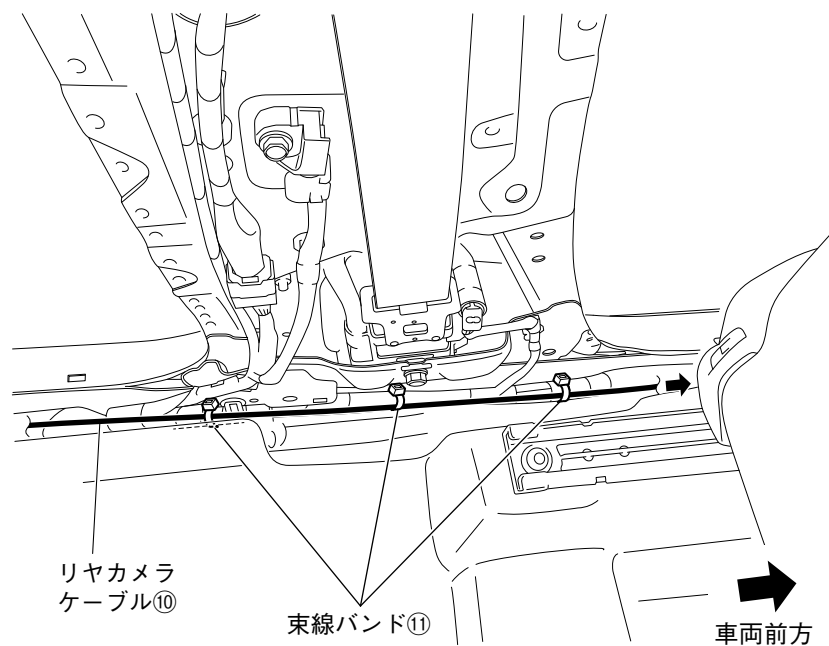


3. リヤカメラケーブル⑩を左リヤドア開口部まで配線します。
4. リヤカメラケーブル⑩をリヤカメラ⑥のケーブルに接続します。
5. 接続したコネクター部にクッションテープ⑫を巻き付けます。
6. リヤカメラケーブル⑩を束線バンド⑪で固定します。
7. リヤカメラケーブル⑩の余長をクッションテープ⑫で束ねた後、束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。

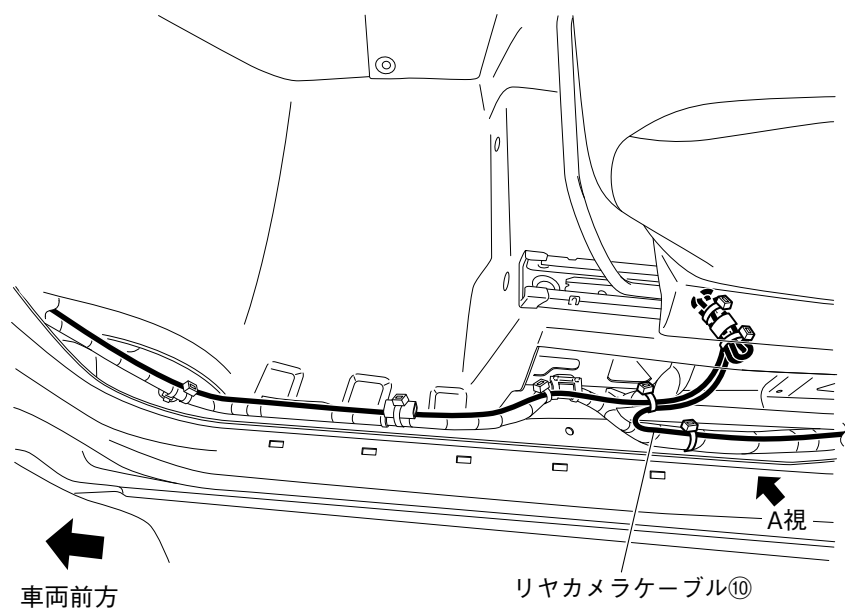
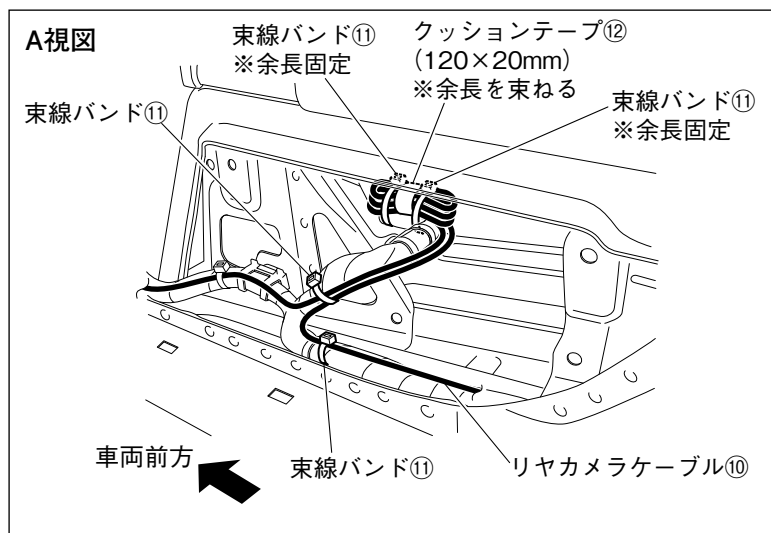
<左リヤドア開口部>



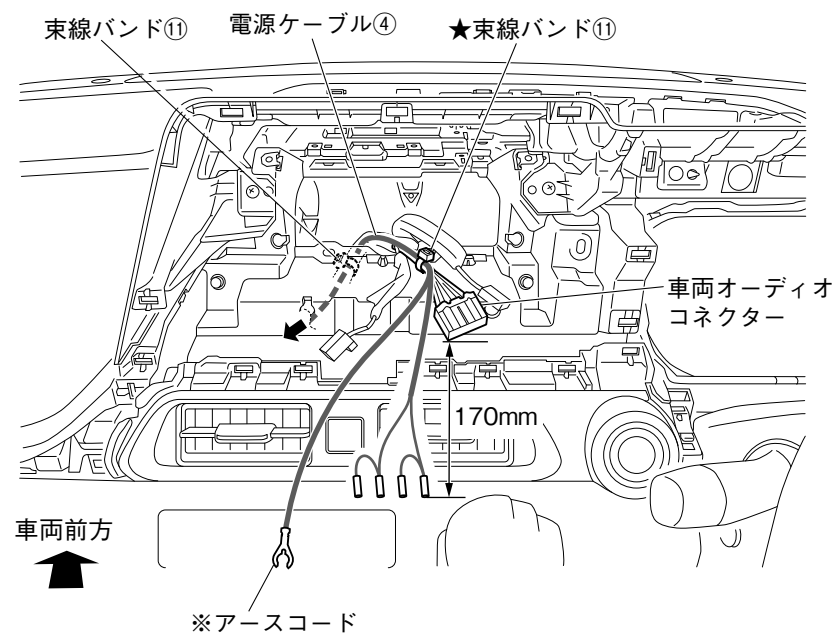
<センターピラー部>



<左フロントドア開口部>



<オーディオ開口部>



8. 電源ケーブル④をオーディオ開口部からグローブボックス取付部まで配線します。

アドバイス

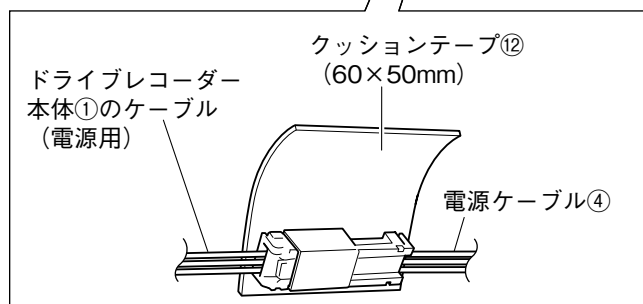
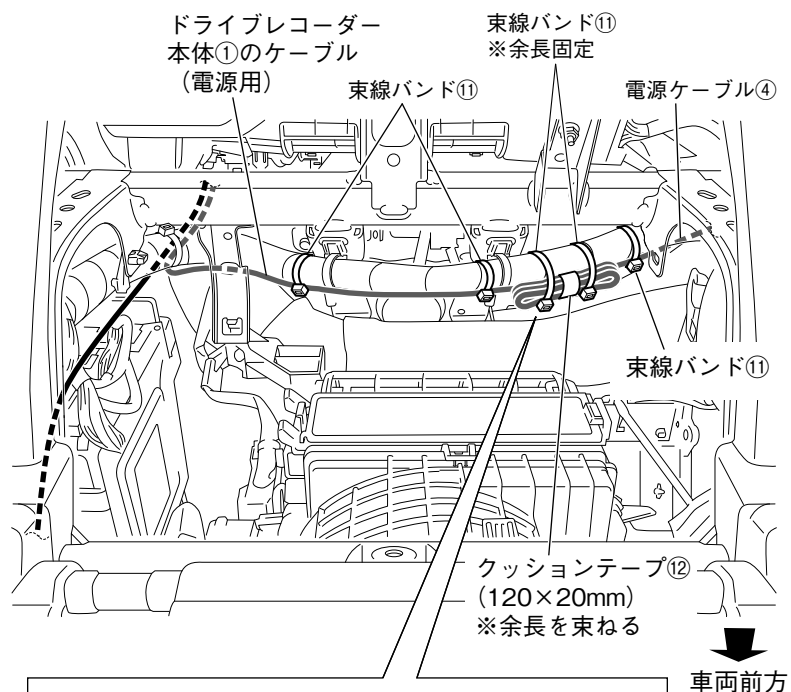
※アースコードをアースボルトに接続する場合（車両ブラケット部で共締めできない場合は、アースコードを助手席足元左側へ配線してください。オーディオ開口部には配線しないでください。

9. オーディオ開口部の電源ケーブル④を束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。

注 記

- ・ ★部の束線バンド⑪は、電源ケーブル④のギボシ端子先端から車両オーディオコネクタ先端までを図示寸法に合わせて固定してください。
- ・ アースコードをアースボルトに接続する場合は、アースコードを車両ハーネスに沿って助手席足元左側まで配線し、束線バンド⑪またはクッションテープ⑫で適宜固定してください。

<グローブボックス取付部>



10. ドライブレコーダー本体①のケーブル（電源用）と電源ケーブル④を接続します。
11. 接続したコネクター部にクッションテープ⑫を巻き付けます。
12. 電源ケーブル④を束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。
13. ドライブレコーダー本体①のケーブル（電源用）と電源ケーブル④の余長をクッションテープ⑫で束ねた後、束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。

注記

- ・ ケーブルの余長はグローブボックスと干渉しないように固定してください。
- ・ ドライブレコーダー本体①のケーブル（電源用）と電源ケーブル④の余長は一緒に束ねて固定してください。

f. 電源ケーブルのアースコードの接続

フロント・リヤセット

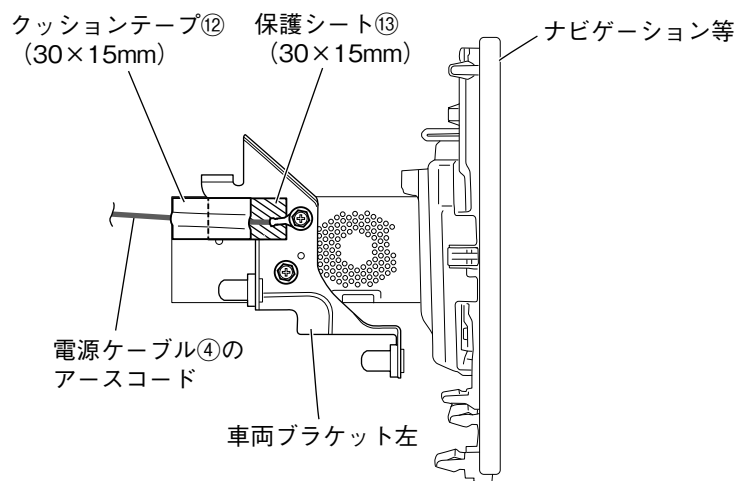
フロントのみ

アドバイス

アースコードをオーディオ開口部車両ブラケットで共締めできるか否かによりアースコードの接続先が異なります。取り付ける車両の状態に応じて接続してください。オーディオ開口部車両ブラケットで共締めできない場合はアースボルトへの接続になります。

●車両ブラケット部で共締めできる場合

<メーカーオプションの場合>



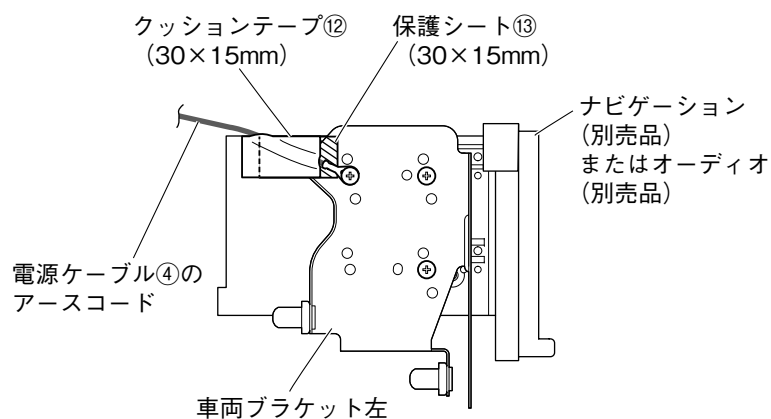
1. 電源ケーブル④のアースコードを車両ブラケットの左図位置に取り付けます。

注記

- ・板金エッジ部に保護シート⑬を左図のように貼り付けてください。
- ・アースが確実に取れていることをテスターで確認してください。

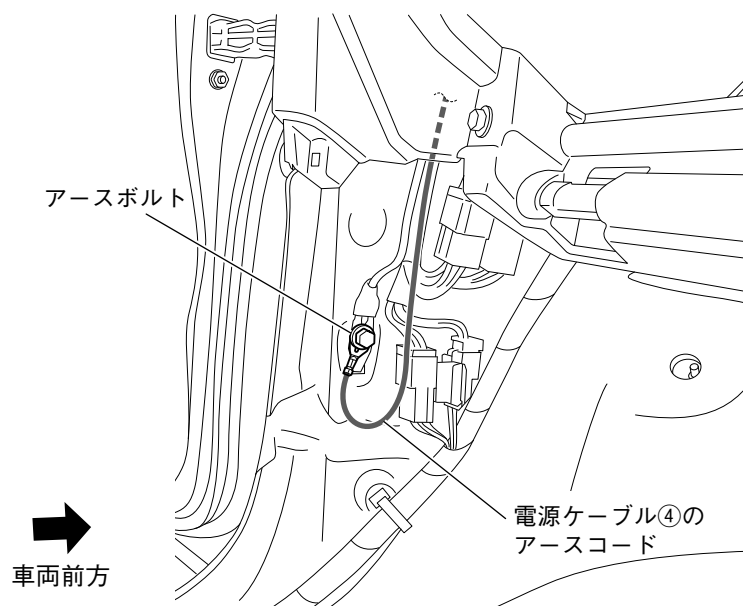
2. 電源ケーブル④のアースコードをクッションテープ⑫で左図のように固定します。

<ディーラーオプションの場合>



●アースボルトに接続する場合

<助手席足元左側>



1. 電源ケーブル④のアースコードを図示位置のアースボルトに接続し、取付後の確認を行います。

注 記

- ・ アース端子は他のアース端子とカシメ部が重ならないように取り付けて確認を行ってください。
 - ・ アースボルトは規定トルク値で締め付けてください。
2. 必要に応じてアース端子をアースボルトから外し、車両ブラケット部に接続し直してください。

g. ACC 電源、バッテリー電源の取り出し要領

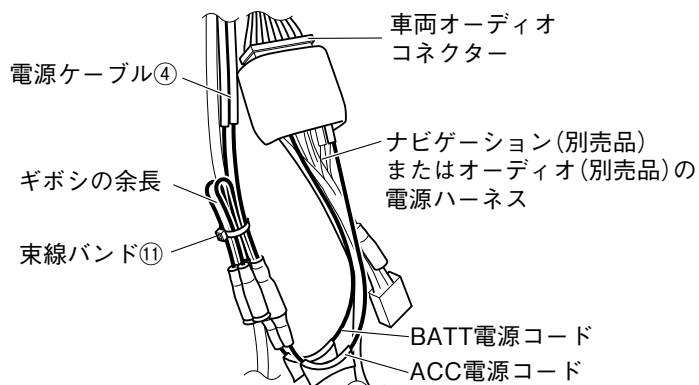
フロント・リヤセット

フロントのみ

アドバイス

電源ハーネスの形状により電源の取り出し要領が異なります。取り付ける車両に応じて接続をしてください。

●電源ハーネスにギボシ端子がある場合



1. 電源ケーブル④のギボシ端子をナビゲーション(別売品)またはオーディオ(別売品)の電源ハーネスに接続します。
ギボシ部の余長は、束線バンド⑪で束ねます。

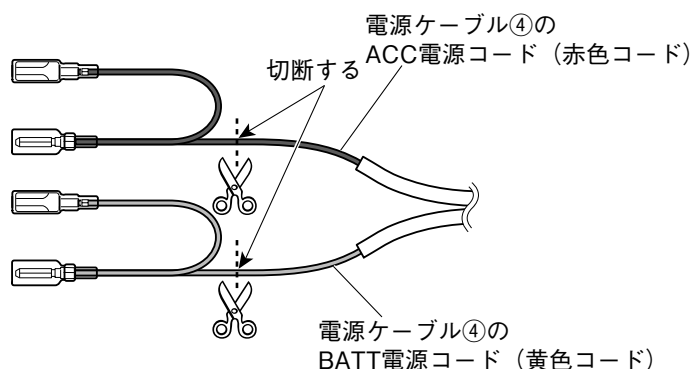
警告

接続しないギボシ端子は、共通編の「結線図 ■用品ナビ・オーディオと共着し、電源ハーネスにACC/バッテリー電源のギボシ端子がある場合」を参照して、必ず絶縁テープを巻き付けてください。

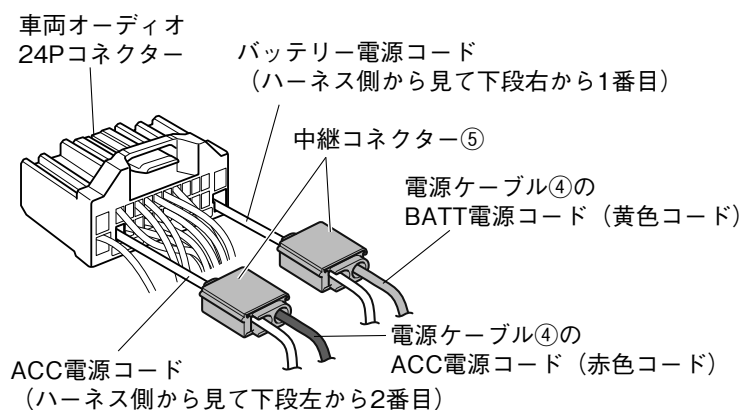
アドバイス

電源ケーブル④の接続は、共通編の「結線図」を参照して接続してください。

●電源ハーネスにギボシ端子がない場合



1. 電源ケーブル④のBATT電源コード(黄色コード)およびACC電源コード(赤色コード)先端のギボシ端子部を切断します。



2. 車両オーディオコネクター(灰色)のバッテリー電源コードに電源ケーブル④のBATT電源コード(黄色コード)を中継コネクター⑤で接続します。
3. 車両オーディオコネクター(灰色)のACC電源コードに電源ケーブル④のACC電源コード(赤色コード)を中継コネクター⑤で接続します。

アドバイス

中継コネクター⑤の接続方法は、共通編の「中継コネクターの使用法」を参照してください。

5. 車両部品の復元

取り外しと逆の手順で取り付けます。

- ・ 車両部品復元時に一時的に取り外した部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取り付け前の状態に戻してください。(コネクター類の接続・締め付けトルク等)
- ・ 取り付け作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。
車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因になります。
- ・ オートライト機能装備車の場合は、オートライト未作動状態での点検を行ってください。
- ネジの締め付けトルクが規定されている場合は、規定のトルクで締め付けてください。